

平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

固01

事務事業名	固定資産評価審査委員会事務事業			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともにつくるまち		款	2	総務費
	施策(節)	3	行財政運営		項	2	徴税費
	施策の方向				目	1	税務総務費
	関連する計画等				事業	6	固定資産評価審査委員会事務局費
事業の目的	対象(誰を・何を)			作成部署	固定資産評価審査委員会事務局		
事業の内容	固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服審査の申出 意図(どういう状態にしたいのか) 独立した中立的・専門的機関により審査し、納税者の権利保護及び固定資産税課税の適正化を確保する。			連絡先	072-958-1111 内線 4190		
根拠法令等	地方自治法、地方税法、固定資産評価審査委員会条例・規則等						
事業開始時期	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 25 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている			終了年度	平成 年度		
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先	<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託			委託内容			

区分		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		175	170	244
人件費【2】 (千円)		2,400	1,080	1,440
職員数	正規職員	0.32 人	0.15 人	0.20 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		2,575	1,250	1,684
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	2,575	1,250	1,684
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 委員会の開催回数 回		11	1	6
② 審査申出の件数 件		6	0	2
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①) 234,091 円		1,250,000 円	280,667 円	
市民1人当たりコスト(【A】/人口) 22 円		11 円	14 円	

成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方 審査申出に対して適正に処理できたか	平成21年度		平成22年度		平成23年度				
	①	審査処理率 (式) 審査処理件数 ÷ 審査申出件数 × 100		目標	100	達成率 (%)	100					
		実績		100								
	②	(式)		目標		達成率 (%)	100					
				実績								

市の 関与の 必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1 法令上の 義務	2 受益者 が不特 定多数	3 最低限 の生活 水準を 確保	4 市民の 不安を 解消	5 社会的 経済的 弱者を 対象	6 民間だ けでは 負担しき れない	7 民間だ けでは 供給不 足	8 市の特 色等を 市内外 へ発信	9 第三者 にも受 益があ る	必要性	分析・評価の説明
	○									有	地方税法に設置が定められている。 納税者の権利保護及び固定資産税課税の適正化のために必要。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明			
	妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	近年、不動産価格は大都市周辺では若干持ち直しつつあるものの、依然低迷しており、再び下落することも懸念される。それに対して固定資産課税台帳評価額はほとんど変化しておらず、審査申出を誘発する一因となっている。			
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
		社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
		国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
		緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	他の事務を兼務する状況の中で、少ない人員ながらも効率的に事務を処理している。				
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市の他事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	納税者の権利を保護し、かつ、適正な固定資産税課税を確保するために、地方税法に定められた機関で、固定資産の評価に付随した事務事業といえる。				
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	審査申出の件数は、評価替えの年とそれ以外の年で大きく異なり、毎年どれ程の審査申出がなされるかはつきりしない。成果指標の適切な設定が難しい。				
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					

担当部局評価	総合評価
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由
	法律に設置が定められている委員会であり、一連の事務をより迅速かつ的確に遂行するよう努めながら、継続的に事業を進めることが必要である。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
事務局職員が、監査委員事務局・公平委員会事務局との兼務、及び他課からの兼務職員で構成されており、特に審査申出の時期は監査委員事務における決算審査時期と重なっており、審査申出がなされれば、3事務局業務全てに支障が生じる可能性が大きいため、事務局の事務内容に精通する職員の育成及び体制の確保を図る。	

行 革 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了	